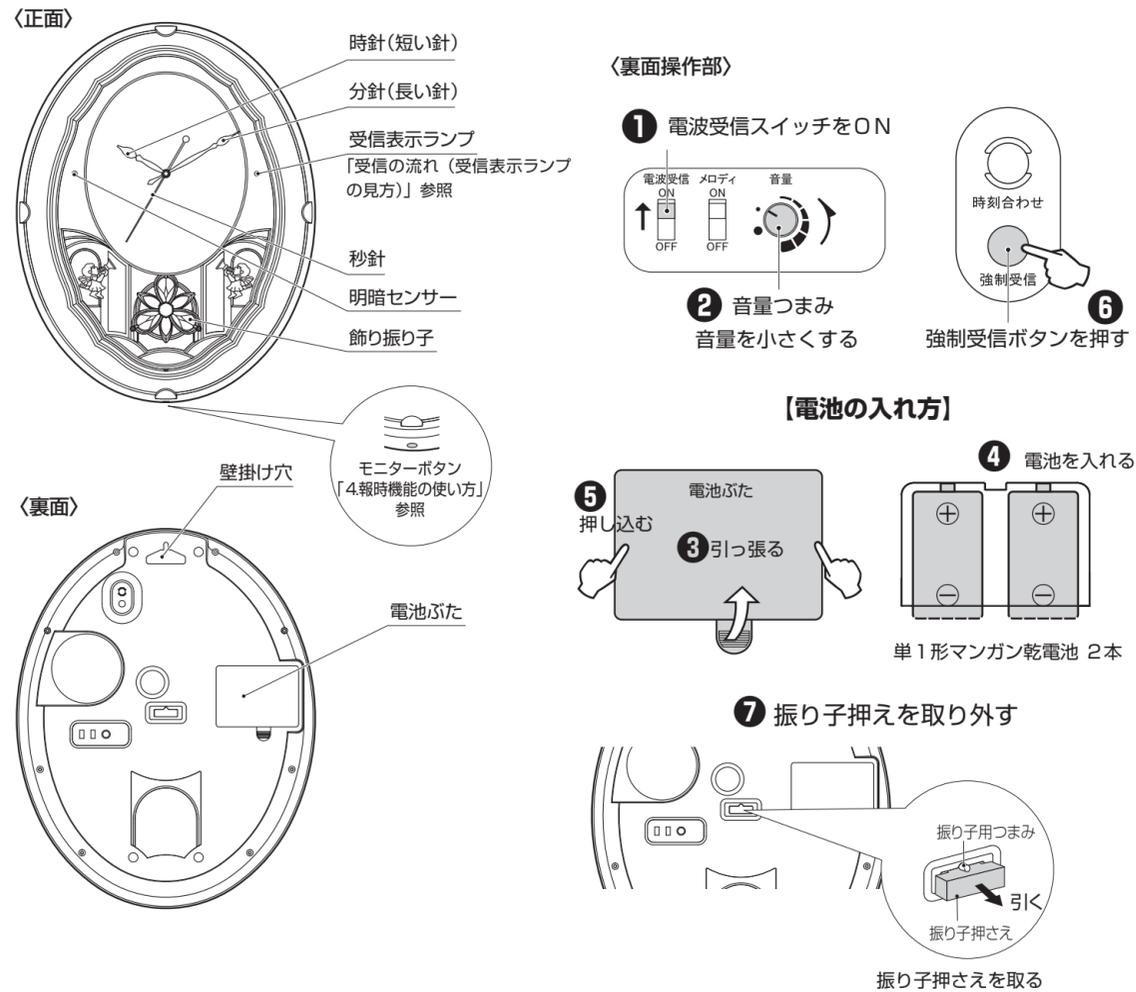


1. 電波を受信させて時刻を合わせます

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

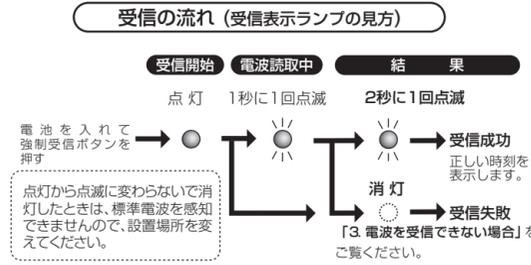


電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や壁面・家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

時計・分針・秒針の動き
通常の時刻表示
時計・分針：10秒に1回動きます。
秒針：1秒ステップで動きます。

自動時刻修正
時計・分針：早送りで順方向に動きます。一時停止することもあります。



手動で時刻を合わせるときは、「3. 電波を受信できない場合」の「手動時刻合わせ」を参照ください。

◎電波を受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 電波受信スイッチをONにする**
- 音量を小さくする**
電池を入れた後、大きな音でメロディが鳴り出すことがありますので、音量を小さくしてください。
- 電池ふたを取り外す**
図のように引っ張って電池ふたを取り外してください。
- 電池を入れる**
電池ホルダーの⊕表示に合わせて指定の電池を入れます。
※電池を逆向きに入れると、電池からの液もれや発熱、破裂などの原因になります。
- 電池ふたを取り付ける**
電池ふたを差し込み、電池ふたを押し込んでください。
- 強制受信ボタンを押す**
電波の受信を開始します。受信には最長 15 分程度掛かります。「受信の流れ (受信ランプの見方)」参照。
○ 受信中はボタン操作をしないでください。
○ 針は停止したままですが故障ではありません。
○ 電池を入れたときや設置場所を変えたときなどは必ず強制受信ボタンを押してください。

7 振り子押えを取る
振り子押えは、輸送時などの振動や衝撃から保護するためのものです。ご使用になるときは取り外し、輸送するときは取り付けてください。

8 時計を掛ける
「2. 時計の掛け方」に従い、時計を確実に掛けてください。

9 約15分後に受信結果を確認する
受信表示ランプの状態を確認します。
受信成功：2秒に1回点滅→正しい時刻を表示
受信失敗：消灯→「3. 電波を受信できない場合」へ。
※受信に失敗している場合、時刻は正しくありません。
※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

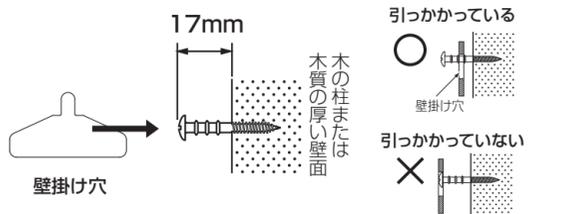
■ 報時機能を設定してください。
☞「4. 報時機能の使い方」参照

2. 時計の掛け方

- 時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 強制注意** ○ 時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

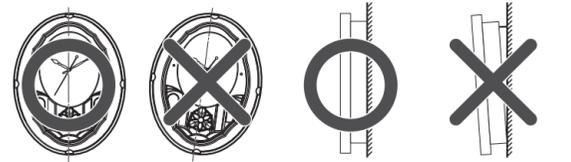
- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

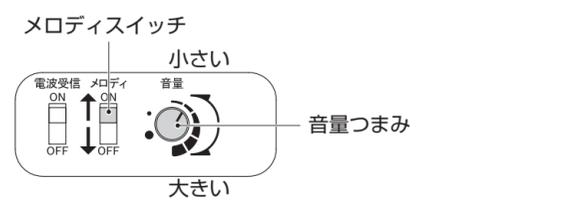
垂直に掛けないと振り子が止まることがあります。



3. 電波を受信できない場合

- ① 翌朝まで待つ**
一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「手動時刻合わせ」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。
- ② 時刻合わせて使用する**
ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。
※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能を「OFF」にしてお使いになることをお勧めいたします。
「6. 電波受信機能の ON/OFF 操作」を参照。

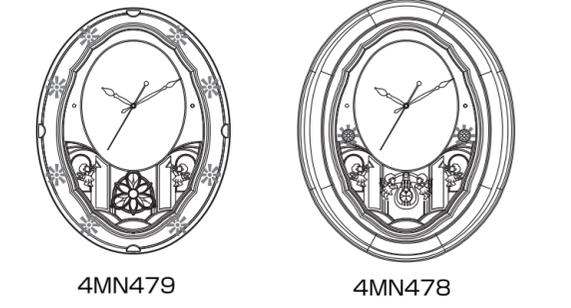
4. 報時機能の使い方



音量の設定

モニターボタンを押すと、1曲メロディを奏でますので、鳴っている間に音量つまみを回して調節してください。

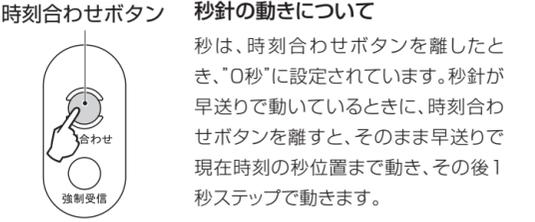
メロディとともにランプが点滅します。点滅するランプの位置や個数は商品により異なります。
< 外周で点滅するタイプ > < 内側で点滅するタイプ >



手動時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
※手動で時刻合わせをしても、電波受信機能が「ON」のときは、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

時刻合わせボタンを押すと、時計・分針・秒針が動き始めます。
○ 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます
○ 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。



メロディスイッチの設定

ON: 毎正時にメロディが鳴ります。
OFF: 毎正時に鳴りません。
※6曲収録されています。
※曲目は時計本体に表示してあります。
※ONでも暗くなると自動的にメロディが鳴らなくなります。
☞「5. 明暗センサー」参照

メロディの試聴

モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でます。鳴っている間にモニターボタンを押すと、曲が切り替わります。つぎの正時には、最後に鳴った曲の次から鳴ります。
● 電波受信中は、受信しやすくなるためモニターボタンは押さないでください。
● 時刻合わせボタンを操作して、正時にしても鳴りません。

5. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。また、受信表示ランプが消灯し、毎正時のメロディが鳴らなくなります。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。十分に明るいところで秒針が12時位置で停止する場合は、「7. 電池交換時期のお知らせ機能」をご覧ください。